

### 茶郷川の河川整備計画原案の作成状況について

新潟県では、具体的な河川整備の実施に関する事項などを定める河川整備計画を学識経験者や住民等の意見を聴きながら策定しています。

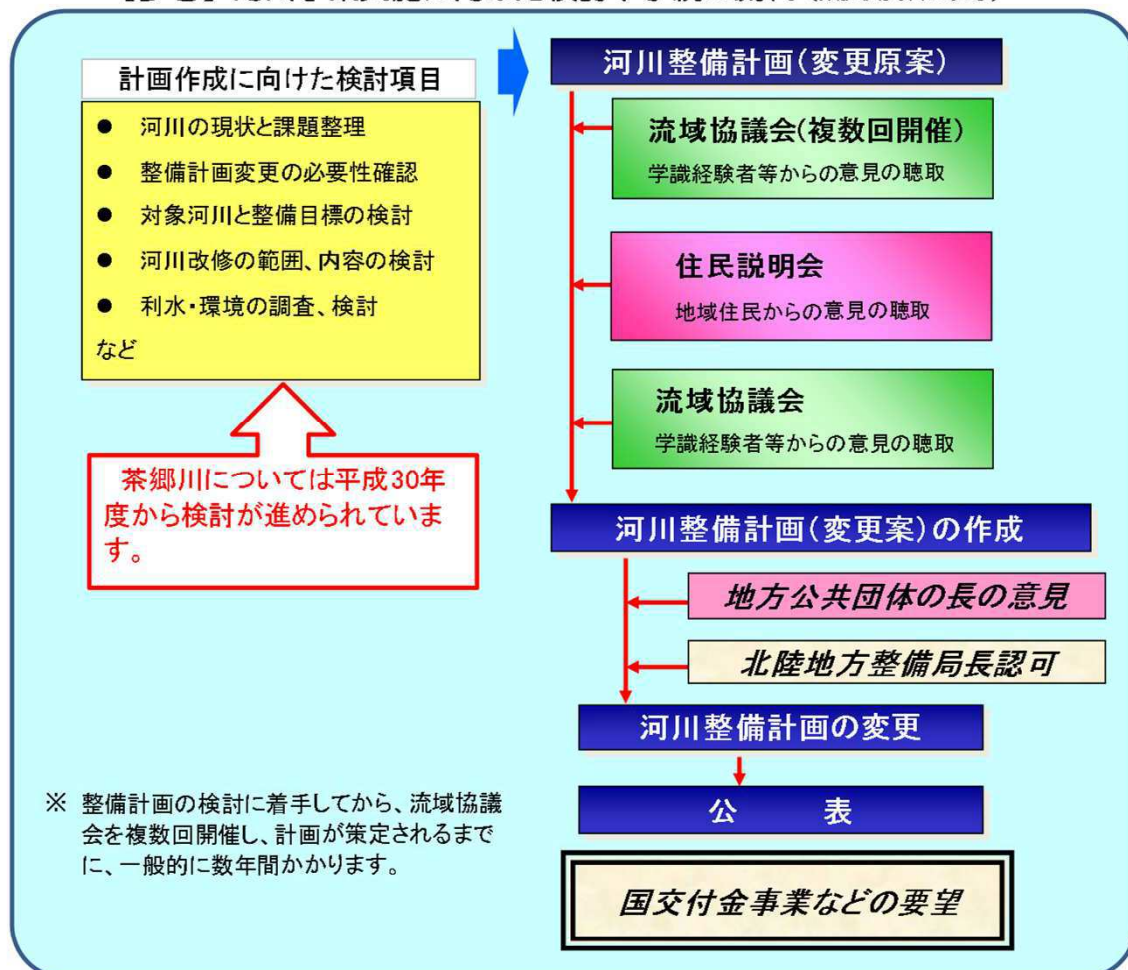
1級河川の河川整備計画はブロック毎に策定されており、茶郷川は、大河津分水路河口から魚野川合流点までの県管理河川（渋海川流域を除く）を対象とした“信濃川中流圏域河川整備計画”の80河川のなかの1河川となっています。

浸水被害の発生状況など、社会状況の変化に応じて、既に策定されている河川整備計画を必要に応じて変更することもあります。

県では、平成30年度から茶郷川の整備計画原案の作成に着手し、大きな浸水被害が発生した過去の豪雨等を対象として検討を進めているとのことです。今後は、効果的・効率的な河川改修等のハード対策や、地域住民の方々への河川情報の提供等のソフト対策を検討し、河川整備計画の原案作成に向けた検討を進めていく考えであるとのことです。

協議会では、県による計画策定への支援として、関係者の合意形成に取り組んでいきたいと考えています。

【参考】河川事業実施に向けた検討や手続の流れ（県提供資料による）



# 茶郷川の減災ソフト対策が一段加速します

近年豪雨による被害が激甚化・頻発化していることから、「施設では防ぎ切れない大洪水は必ず発生する」との意識を持ち、水防災に取り組む社会の実現が重要となっています。

茶郷川でも、新潟県が以下のような取組を進めることになりました。

## ①想定最大規模降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の作成

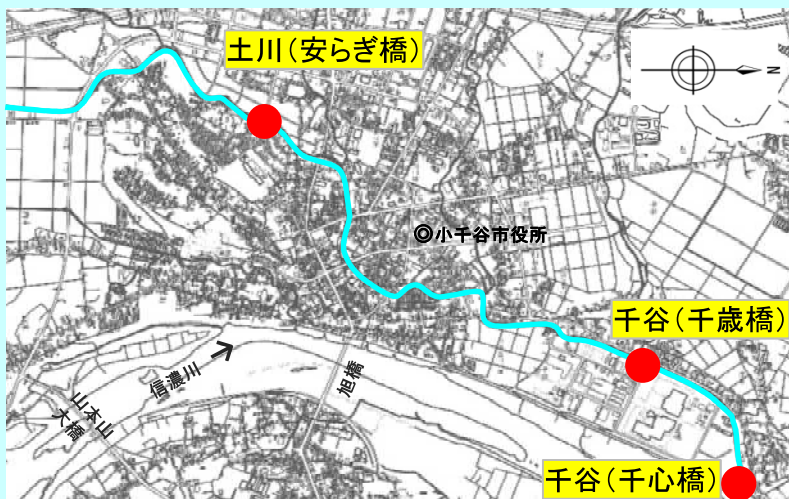
「洪水浸水想定区域図」は、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を浸水の深さごとに色分けして地図上に示した図で、洪水時に適切に避難するための「洪水ハザードマップ」の基本情報となるものです。新潟県では現在、想定し得る最大規模の降雨（1000年に1度程度の確率）を対象とした洪水浸水想定区域図の作成を進めています。

信濃川については国が平成28年度に想定最大規模の洪水浸水想定区域図を公表したことを受けて、小千谷市では信濃川の洪水ハザードマップを公表しています。茶郷川についても、今年度から県が想定最大規模の洪水浸水想定区域図の作成に着手しています。

また、既に公表されている計画規模の洪水浸水想定区域図についても、近年の豪雨の状況等を踏まえて見直しが行われます。



## ②危機管理型水位計の設置



洪水時の計測だけに機能を特化した低コストの「危機管理型水位計」の設置が、県内の中小河川で推進されています。

茶郷川でも、水害の危険性をいち早く知ることができるよう、この水位計が設置され、水位計で計測された水位は来年度出水期前までに「新潟県河川防災情報システム」にて公開される予定とのことです。

### ■問い合わせ先

事務局 / 〒947-8501 小千谷市城内2-7-5 小千谷市建設課 (電話83-3514)

※今回の会報は、新潟県長岡地域振興局地域整備部の協力により作成しています。